

チャレンジ
『challenge』



令和5年1月11日
文責 安井 仁

令和5年 スタート!

あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

いよいよ令和5年が始まりました。私事ですが歳のせいか、ついこの前平成から令和に年号が変わったと感じるのにもう5年目ということで驚いています。改めて月日が経つ早さを感じてしまいます。冬休みも13日間という限られた時間でしたが、保護者のみなさま、お子さんともに有意義な時間を過ごすことができましたでしょうか。

さて、兎年は「飛躍」や「向上」の年とされています。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれ、新しいことに挑戦するのに最適な年とされているようです。

しかし、当然のことながら兎年だからといって、世の中の人全員が「飛躍」「向上」するわけではありません。なかには現状維持だったり逆に悪くなったりする人も現れるかもしれません。大切なのはどうすれば兎のように穏やかに、尚且つ躍動できるようになるかを考えることだと思うのです。どんな1年になるかではなく、**どんな1年にしたいか**をしっかりと考えて限られた時間を大切に過ごしてほしいものです。

学年のテーマは『挑戦』です。なりたい自分になるために、必要だと思うことをまずは行動してみる。多くの人が躊躇する中、勇気を出して踏み出すことが、飛躍への第一歩になるのではないのでしょうか。中学1年生ですから、失敗もたくさんあるでしょう。しかしこの経験こそが12年後、24年後の「飛躍」「向上」につながるのではないのでしょうか。

初詣＝決意表明

お正月の恒例行事の1つに初詣があります。私も毎年正月には神社へ行き、普段あまり信じていない神様にこの時ばかりといろいろお願い事をしていました。しかしある時、中村真教授の記事を目にし、考えが変わりました。一部抜粋し、紹介させていただきます。

「私は神頼みをしないということの大切さをお伝えしたいと思います。神様にお願いするのではなく、神さまの前で誓いを立てるために神社に行く。まずは自力で精一杯やると誓い、「見守ってください」と神様にお願いする。神様と約束できるくらい、自分は本気だということです。誓いはまた、「くじけたり、なまけたり、手を抜いたり」は決してしない」という約束にもなります。・・・私たちが嘘をつけない相手は、神様以外にもう一人います。それは他ならぬ、自分自身。自分の心だけは、ごまかすことはできません。きれいな言葉を並べ、笑顔をつくれれば、他の人はあざむけます。しかし、それが真実でないことは、自分が知っています。神様に頼んできたからもう大丈夫なのか、神様に誓ったからには本気で頑張らなきゃと思えるかで、行動が変わり、結果が変わるということです。」（一部抜粋）*中村真 [尾道自由大学校長 / 「神社学」教授]

神様はいつでも、どこからでも私たちを見ていることでしょうか。初詣で神頼みした人も、今一度心の中で神様に誓ってみてはいかがでしょうか？

